

平成23年度 第1回人材育成・勤務評定委員会 会議録

日時：平成23年8月29日（月）15：00～16：15

場所：法勝寺庁舎大会議室

参加：副町長、総務課長、教育次長、町職労副委員長、町職労書記長、行革専門員、書記

発言者	内容
副町長	有意義な時間に。人事評価制度は、100パーセントは有り得ない。その方向に近づけるように知恵を出して頂きたい。まだ途中半ば、忌憚の無い意見、意識改革につながるような意見を出して欲しい。
行革専門員	平成22年度の見直し案は実施されていない。22年度は、12月の勤勉手当にのみ反映されている。 コーチングを受けたという人が少ない状況である。
教育次長	改めてコーチングをする必要性がピントこない。日常からやっていることなので。
行革専門員	コーチングは、やったところとやらないところがある。そういうことであるならば、やらなくても良いが、やるというルールの下でやっているのだから、やっていかないといけない。
町職労書記長	コーチングをやったことに対するアンケートではなくて、コーチングについてのアンケートを実施して情報を集めて分析してみてもどうか。
副町長	やるなら徹底的に。やったりやらなかったりはダメ。
行革専門員	一般職員を対象としたコーチング研修を10月に実施する。やるならやるということにしていかないといけない。
副町長	日程をきっちり区切ってやってはどうか。お互いの日程がなかなかみ合わない。 業務の課題について、課では話をしないのか。日常からの情報共有が必要。平素、年間スケジュールをチェックすることが大切。
行革専門員	コーチングについては、てこ入れをして向き合ってやらないといけない。
教育次長	一度、仲田専門員が各課のコーチングに入ってみてはどうか。
総務課長	コーチングの目標が分からないのでやり難いのではないか。業務に対するものなのか、資質に対するものなのか。
副町長	「人」を育てるコーチング。
総務課長	処遇を変えるのであれば条例も構わないといけない。人事評価のことが分からない者が集まって話をしても良いのか。
行革専門員	第三者が必要。しかし、新しいシステムを一度入れたら後戻り出来ない。その点も含めて23年度の検討課題である。目線がブレて評価

	しているところでは、昇格、昇給まで反映出来ない。
総務課長	合銀は評価を実施している。なぜ町は出来ないのか。
行革専門員	納得する評価制度は人材育成につながる。
副町長	申告の内容が抽象的である。
総務課長	精神論になっている。書いてあることは当たり前のこと。評価に値するのか。
行革専門員	(3以外の) 評価を受けている人数は11名。(あとは3) だからモチベーションが上がらないのかとも思う。
町職労副委員長	一定期間してきたので、もうやらなくても良いとも思う。
町職労書記長	入れる、やめるにしても職員の意思統一が大事。その後で間違っていたとしても方向修正がし易くなる。
町職労副委員長	制度として入れるなら、良い悪いはない。そういうものとして理解するしかない。強制的部分に意見がどれだけ言わせてもらえるか。評価はどこ職場もある。
行革専門員	人事評価のプロではないので、今の制度は大方の職員がよろしくないと思っているのではないか。
町職労副委員長	町として力を入れるなら、担当部署を置くとかいうのは組織の考え方。
総務課長	今のままだと進まない。誰が見ても方向が分かるよう、安心感が与えられるようなシステム作りが必要。行革を進めると、職員の人数は減ってくる。これからどうやって仕事を進めていくか。スキルアップが必要。効率的にやっていかないといけない。それに耐え得る人材育成が必要。
町職労副委員長	毎年、結果的に良い人悪い人の人数が同じになる。もともとそういう主旨ではない。
行革専門員	各課に来年度のヒアリング資料作成が求められていると思うが、行革室としては、評価制度について現状からの脱却という意味も含めて検討している。
副町長	今の制度の中で、とにかくコーチングをやるということを徹底する。全員が受ける。
行革専門員	それでは、今年度は現行の評定シートに基づいてコーチングまでを全員が行うということでよいか。
行革専門員	昇任、昇格がからむとシビアになる。
副町長	その場合は、試験をしないといけない。
総務課長	90人程度の組織でギチギチなシステムを入れるべきかどうかという考えもある。
行革専門員	今日の会をまとめたい。この秋の評定、コーチングは全員の実施を徹底する。それに基づいて、平成24年度の評定をどうするかをこの

	会の中で決めて行きたいと思う。
町職労副委員長	反映についても22年度どおりで良いか。
副町長	それで良い。
町職労副委員長	今後の協議は来年度に向かってということで良いか。
行革専門員	それで良い。
副町長	事業報告書、まとめられるようになって来たという評価をもらっている。職員も変わってきたと内心喜んでいる面もある。
町職労副委員長	事業報告書など、そういうシステムにお金を使ってもらいたい。良いものだと思うが、作るのに時間がかかる。財務システムとリンクしていれば決算額がきちんと入る。内容の書きぶりに力を入れることが出来る。
行革専門員	23年度の形も見えた。今日の約束事は職員に徹底したい。
総務課長	評価をボーナスに反映するためには、10月半ばには結果が出ていないといけない。

16 : 15 閉会